

【赤十字血液センターに報告された輸血後GVHD※ —1997年1～10月—】

輸血後GVHDは、一度発症するとほぼ全例が致死的な経過をたどる重篤な副作用です。日本赤十字社では、1996年4月と12月の2度にわたり輸血後GVHDについて「緊急安全性情報」を配布しました。しかし、その後も放射線を照射していない血液による輸血後GVHDが発症しており、1997年1～10月までにすでに13例が確認されています。以下にそれらの症例をご報告するとともに、予防のための放射線照射済み血液の使用をお願いします。

※Post Transfusion Graft Versus Host Disease：輸血後移植片対宿主病

1997年1～10月までに確認された輸血後GVHD症例一覧

表に示すように、高齢者に多く発症しています。原疾患ではこれまでと同様に担癌手術患者・開心術患者での発症がみられ、高齢者で手術をしなかった3例(No.1,2,8)のほか、重篤な外傷への緊急輸血で4例(No.5,7,12,13)が発症しています。原因血は全て赤血球で、最長保存日数は14日でした。また、院内血液によるものが1例ありました。

No.	年齢	性別	原疾患	手術の有無	原因製剤名	輸血量	採血後の保存日数
1	72	女	慢性腎不全	なし	赤血球M・A・P	8単位	不明
2	77	女	慢性貧血	なし	赤血球M・A・P	6単位	6
3	69	男	心筋梗塞	有り	赤血球M・A・P	3単位	6
4	75	男	肺癌	有り	赤血球M・A・P	5単位	5
5	60	男	外傷	有り	赤血球M・A・P	10単位	10
6	47	男	食道癌	有り	赤血球M・A・P	6単位	8
7	20	男	外傷	有り	院内血液	不明	不明
8	87	男	胃癌、貧血	なし	赤血球M・A・P	4単位	10
9	86	男	S状結腸癌	有り	赤血球M・A・P	3単位	6
10	78	女	子宮頸癌	有り	赤血球M・A・P	24単位	12
11	78	男	腹部大動脈瘤	有り	赤血球M・A・P	6単位	14
12	63	男	外傷	有り	赤血球M・A・P	36単位	5
13	92	女	外傷	有り	赤血球M・A・P	3単位	5

日本赤十字社では、放射線照射済み輸血用血液の製造承認申請の準備をすすめております。



輸血後GVHDの予防

- 輸血の適応、使用血液の選択を行い、不必要な輸血を行わない
- 予定された手術では自己血輸血を行う

血液センターでは医療機関との契約に基づいて技術協力を行っています。

- 血縁者からの輸血は避ける
- 新鮮な血液の輸血は避ける
- 放射線照射した血液を使用する**

照射装置がないなどの理由により医療機関での照射が不可能な場合、血液センターでは医療機関との契約に基づいて放射線照射に協力しています。

輸血用血液の放射線照射の適応

日本輸血学会「輸血によるGVHD予防のための血液に対する放射線照射ガイドラインⅢ」より

「輸血用血液の放射線照射の適応」

(1) 放射線照射が適応となる患者

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 心臓血管外科手術 | 2. 癌の外科手術 |
| 3. 先天性免疫不全症 | 4. 造血幹細胞移植 |
| 5. 胎児、未熟児 | 6. 新生児交換輸血 |
| 7. 大量出血・重篤な外傷 | |

(2) 放射線照射を考慮すべき患者

1. 悪性リンパ腫
2. 白血病およびその他の造血器腫瘍
3. 強力な化学療法、放射線療法を受けている固形腫瘍
4. 臓器移植を受け免疫抑制状態にある患者
5. 高齢者

(3) その他、医師が適応と認めた場合

高齢者で手術をしない症例でも輸血後GVHDが発症していることにご注意ください。

**輸血による副作用が疑われたときは、最寄りの血液センター
医薬情報担当者にご連絡ください。**

日本赤十字社中央血液センター 医薬情報部

〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1

秀和芝パークビルB館14階

TEL 03-5733-8226 FAX 03-5733-8235

■ご注文・お問い合わせ